



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8091

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	8,014	13.4	699	30.5	706	38.2	375	54.6
30年3月期第2四半期	7,067	0.5	535	44.7	511	46.9	242	68.2

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 351百万円 (46.1%) 30年3月期第2四半期 240百万円 (68.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	1.15	
30年3月期第2四半期	0.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,282	6,908	48.4
30年3月期	13,852	6,654	48.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,908百万円 30年3月期 6,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.30	0.30
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.30	0.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	3.3	1,250	53.5	1,210	66.9	680	621.8	2.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	332,527,514 株	30年3月期	332,527,514 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	6,581,658 株	30年3月期	6,581,254 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	325,946,070 株	30年3月期2Q	330,597,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年9月30日）において、当社グループは、グループ各社の業績向上のために様々な取り組みを進めており、中長期における事業規模の拡大及び収益力の向上に向けて、中期経営計画に基づき、国内既存事業の拡大、海外展開の推進、新規事業の育成等により事業活動を推進しました。

平成30年10月に当社は、株式会社NEW ARTから株式会社NEW ART HOLDINGSに商号変更し、ホールディングカンパニーとしての経営基盤を整えてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力のジュエリー事業が引き続き好調に推移したことにより、売上高は80億14百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は6億99百万円（前年同期比30.5%増）、経常利益は7億6百万円（前年同期比38.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億75百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ジュエリー事業

当第2四半期連結累計期間におけるジュエリー事業の売上高は54億70百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は10億15百万円（前年同期比79.4%増）となりました。

ジュエリー事業につきましては、国内においてテレビCMやWEB広告等の集客強化により来店客数が増加したこと、また前連結会計年度に立ち上げた海外店舗等の売上がフルに寄与したことより、前年同期と比べ増収増益となりました。

新規の店舗展開につきましては、平成30年7月に、銀座ダイヤモンドシライシ町田マルイ店を増床し、新たにエクセルコ ダイヤモンドを併設したブランド統合店舗をオープンしました。平成30年9月には、台湾で2店舗目となる銀座ダイヤモンドシライシ新光三越台北南西店をオープンし、平成30年10月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は41店舗、海外店舗は3店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は26店舗、海外店舗は1店舗となりました。

②エステ事業

当第2四半期連結累計期間におけるエステ事業の売上高は13億84百万円（前年同期比11.4%減）、セグメント損失は31百万円（前年同期はセグメント利益23百万円）となりました。

エステ事業につきましては、前年同期と比べ減収減益となりましたが、現在、売上拡大及び利益率の改善を図るための施策として、顧客層の見直し、商品構成の変更、化粧品事業への取り組みを進めて業績の回復を図っており、当第2四半期会計期間（7月～9月）では前年同期と比べ、増収増益に転じております。平成30年10月末における国内店舗は、平成30年9月にラ・パルレ赤羽店を池袋店に統合したことにより25店舗、海外店舗は2店舗となりました。

③アート事業

当第2四半期連結累計期間におけるアート事業の売上高は8億58百万円（前年同期比38.5%増）、セグメント損失は57百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

アート事業につきましては、美術品の販売だけでなく、株式会社ニューアート・フィンテックにおいて、アートと金融を組み合わせた新規事業としてアートファンドの立ち上げを計画し、実現に向けた準備を堅実に進めており、新しいビジネス展開にも注力しています。

④その他事業

当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は3億1百万円（前年同期比35.6%増）、セグメント利益は62百万円（前年同期はセグメント損失32百万円）となりました。

その他事業につきましては、スポーツ関連事業の株式会社ニューアート・クレイジーにおいてはゴルフの一流シャフトブランドである「CRAZY」の認知拡大を図ると同時に新製品開発に力を入れています。

当社グループはスポーツやIT関連事業など、いくつかの新たなビジネスに取り組んでおり、これら新規事業については一括してセグメント表示しています。

注) 上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)
ジュエリー事業	宝飾品の販売、サービス	5,469,866	17.3	68.2
エステ事業	エステティックサロンのサービス、物品販売	1,384,915	△11.4	17.3
アート事業	美術品等の販売	858,385	38.5	10.7
その他事業	ゴルフ用品の販売及びIT関連事業	300,882	36.0	3.8
合 計		8,014,050	13.4	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 「ジュエリー事業」は、ブライダルジュエリー販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよびファッションジュエリーの売上となっております。
 4. 「エステ事業」は、エステ施術サービス、化粧品、栄養食品および美容機器販売の売上となっております。
 5. 「アート事業」は、美術品等の販売の売上となっております。
 6. 「その他事業」は、ゴルフクラブ用カーボンシャフト、ゴルフ用品の販売およびIT関連事業等による売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比4億1百万円増加(前期比4.1%増)し、101億37百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加81百万円、商品及び製品の減少1億60百万円、受取手形及び売掛金の増加4億14百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比28百万円増加(同0.7%増)し、41億45百万円となりました。主な要因としては、建物及び構築物(純額)の増加1億52百万円、建設仮勘定の減少1億11百万円などによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末比4億30百万円増加(同3.1%増)し、142億82百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比4億33百万円増加(前期比7.3%増)し、63億95百万円となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加57百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加93百万円、前受金の増加4億32百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比2億57百万円減少(同20.8%減)し、9億77百万円となりました。主な要因としては、長期借入金の減少3億3百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比1億76百万円増加(同2.4%増)し、73億73百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比2億54百万円増加(前期比3.8%増)し、69億8百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加3億75百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少97百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は48.4%(前連結会計年度末は48.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年6月8日公表の業績予想から変更はありません。なお今後、業績予想について変更がある場合は速やかに公表いたします。

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,282,476	1,364,165
受取手形及び売掛金	1,557,414	1,972,344
商品及び製品	6,543,571	6,382,861
仕掛品	64,743	66,717
原材料及び貯蔵品	137,109	140,135
前払費用	145,182	164,885
その他	227,948	270,712
貸倒引当金	△222,557	△224,768
流動資産合計	9,735,888	10,137,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	985,616	1,137,819
機械及び装置（純額）	7,426	6,631
車両運搬具（純額）	0	7,831
工具、器具及び備品（純額）	870,023	856,991
リース資産（純額）	111,436	105,566
建設仮勘定	115,325	3,640
有形固定資産合計	2,089,828	2,118,480
無形固定資産		
のれん	376,894	362,422
その他	89,215	72,041
無形固定資産合計	466,109	434,464
投資その他の資産		
投資有価証券	48,674	48,674
敷金及び保証金	1,117,287	1,098,208
繰延税金資産	58,465	111,864
その他	414,891	412,114
貸倒引当金	△79,057	△78,625
投資その他の資産合計	1,560,261	1,592,234
固定資産合計	4,116,200	4,145,179
資産合計	13,852,088	14,282,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	230,000	287,561
短期借入金	2,828,799	2,823,200
1年内返済予定の長期借入金	584,780	678,741
リース債務	23,233	24,231
未払金及び未払費用	739,592	688,162
未払法人税等	437,796	381,344
前受金	887,598	1,320,093
その他	230,986	192,631
流動負債合計	5,962,786	6,395,965
固定負債		
長期借入金	881,063	578,000
リース債務	86,215	77,556
退職給付に係る負債	185,906	190,864
その他	81,475	131,079
固定負債合計	1,234,660	977,501
負債合計	7,197,447	7,373,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,153
利益剰余金	1,853,954	2,131,673
自己株式	△202,098	△202,109
株主資本合計	6,645,262	6,922,970
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	9,278	△14,303
その他の包括利益累計額合計	9,278	△14,303
非支配株主持分	100	100
純資産合計	6,654,641	6,908,766
負債純資産合計	13,852,088	14,282,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,067,320	8,014,050
売上原価	2,804,491	3,285,047
売上総利益	4,262,828	4,729,002
販売費及び一般管理費	3,726,916	4,029,780
営業利益	535,912	699,222
営業外収益		
受取利息	272	295
為替差益	—	24,520
その他	1,050	1,900
営業外収益合計	1,322	26,716
営業外費用		
支払利息	18,456	19,041
為替差損	5,237	—
その他	2,042	111
営業外費用合計	25,736	19,153
経常利益	511,497	706,784
特別損失		
固定資産除却損	—	8,226
減損損失	—	13,160
特別損失合計	—	21,386
税金等調整前四半期純利益	511,497	685,398
法人税、住民税及び事業税	199,367	363,297
法人税等調整額	69,286	△53,398
法人税等合計	268,653	309,898
四半期純利益	242,844	375,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,844	375,500

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	242,844	375,500
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,943	△23,582
その他の包括利益合計	△1,943	△23,582
四半期包括利益	240,901	351,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,901	351,918
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	511,497	685,398
減価償却費	87,390	117,899
減損損失	—	13,160
のれん償却額	14,471	14,471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,151	1,779
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,593	4,958
固定資産除却損	—	8,226
受取利息及び受取配当金	△272	△295
支払利息	18,456	19,041
為替差損益 (△は益)	△4,530	△35,991
売上債権の増減額 (△は増加)	△152,098	△414,705
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,295,277	155,720
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,040	57,561
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△91,313	△53,326
前受金の増減額 (△は減少)	△65,382	431,770
未払又は未収消費税等の増減額	△2,121	58,970
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△7,156	△167,518
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	30,354	8,103
その他	△1,700	△13,122
小計	△941,898	892,101
利息及び配当金の受取額	272	295
利息の支払額	△17,229	△17,910
法人税等の還付額	—	41,176
法人税等の支払額	△146,670	△406,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,105,526	509,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△40,000
有形固定資産の取得による支出	△225,502	△83,973
無形固定資産の取得による支出	△18,710	△10,029
敷金及び保証金の差入による支出	△18,698	△35,210
敷金及び保証金の回収による収入	3,718	26,383
関係会社株式の取得による支出	△48,674	—
その他	△36,932	△4,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344,799	△147,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	785,000	840,000
短期借入金の返済による支出	△653,000	△845,599
長期借入れによる収入	500,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△159,593	△309,102
リース債務の返済による支出	—	△11,748
自己株式の取得による支出	△200,011	△11
配当金の支払額	—	△96,034
その他	8	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	272,404	△322,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,303	2,275
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,179,225	41,689
現金及び現金同等物の期首残高	2,606,248	1,282,476
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	143,517	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,570,541	1,324,165

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー 事業	エステ事業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,663,719	1,562,738	619,568	221,294	7,067,320	—	7,067,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	251	—	—	748	1,000	△1,000	—
計	4,663,971	1,562,738	619,568	222,043	7,068,320	△1,000	7,067,320
セグメント利益又は損失(△)	565,740	23,060	18,778	△32,674	574,905	△38,992	535,912

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額38,992千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「その他事業」において、株式会社ニューアート・クレイジーを重要性が増したため連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は39,771千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー 事業	エステ事業	アート事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,469,866	1,384,915	858,385	300,882	8,014,050	—	8,014,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	642	—	—	171	813	△813	—
計	5,470,509	1,384,915	858,385	301,053	8,014,863	△813	8,014,050
セグメント利益又は損失(△)	1,015,137	△31,270	△57,634	62,244	988,477	△289,255	699,222

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額289,255千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成29年10月1日に持株会社制へ移行し、前第1四半期連結累計期間より、グループ会社の管理体制を見直し、経営管理方針を変更しました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間より、従来「ジュエリー事業」に含めていたグループ運営に関連する費用をセグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報における当社のグループ管理費用等については、持株会社体制への移行前であり、算出等が実務上困難であるため、「ジュエリー事業」に含めております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エステ事業」において、統合による移転が決定した店舗の原状回復費用に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,060千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。